



慶應義塾大学ビジネス・スクール 公開講座のご案内

公開講座シリーズは、KBS 教授陣が最先端の経営学研究の成果を広く社会にお届けし、実際のビジネスシーンで役立てていただくことを目的として全6回にわたり開催しています。各回の詳細情報は順次 HP にて掲載してまいります。皆様のご参加をお待ちしております。

お申込：開講日の約1か月前よりKBS ホームページ上（www.kbs.keio.ac.jp）にて申込受付を開始します。

いずれも参加費は無料です。

第1回 *終了*

日程：5月24日(金)

19:00～21:00（開場 18:30）

会場：東京21cクラブ(新丸の内ビルディング10F)

経営の大局を鳥瞰する

「今、どんな事業が儲かるのか?」、「どんなビジネスモデルが利益を上げているのか?」を見通すための会計数値の読み解き方について、利益ランキングに登場する企業の分析や利益率と利益額の産業マップ等のツールを駆使して分かりやすく解説。「経営リテラシー」に関する多彩なトピックについて熱い講義を展開しました。



担当：山根 節（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授）

1973年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、1974年公認会計士第2次試験合格、同時に監査法人サンワ事務所（現・トーマツ）入社。1977年公認会計士資格取得。1982年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了。同年コンサルティング会社を設立して代表となる。1994年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。1997年慶應義塾大学商学研究科博士課程修了（博士（商学））。1998年米国スタンフォード大学客員研究員。2001年経営管理研究科教授。2003年RJCカー・オブ・ザ・イヤー理事・選考委員。2006年より育児支援サービス産業研究会（経済産業省）座長その他公職を多数務める。

第2回 *終了*

日程：6月11日(火)

19:00～21:00（開場 18:30）

会場：ステーションコンファレンス(JR 東京駅日本橋口直結、サピアタワー5階)

アベノミクスの持続可能性

講義の冒頭から「ケースディスカッションとは“何か”を発見、生み出すこと」、「学問とは検証できない仮説を検証しようと格闘すること」、「真実は存在しない、現実があるだけだ」等々、鋭いフレーズを受講者に投げ掛ける、刺激的な幕開けとなりました。続いて本題では、「アベノミクス」には定義や実態が存在しないこと、現在の金融政策の重大の問題点について厳しい分析を展開しました。



担当：小幡 績（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授）

1992年東京大学経済学部卒業、大蔵省（現財務省）入省、1999年退職。2000年IMF、2001年～2003年一橋大学経済研究所専任講師。2001年Ph.D.（経済学）（ハーバード大学）取得。

第3回 *終了*

日程：7月24日(水)

18:30～20:30（開場 18:00）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

プロフェッショナルマネジャーの仕事はたった1つ

部下の能力を引き出し、生き生きと仕事をしてもらうための「配る」マネジメントについて、講義の前半で説明。その後、理論的な基礎となっている新たな組織論「要素還元型と生命型」について論じ、これら2つのどのようなバランスが企業の持続的成長をもたらすのか、を今後の研究課題として挙げました。



担当：高木 晴夫（慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授）

1973年慶應義塾大学工学部管理工学科卒業、1975年同大学大学院工学研究科修士課程修了、1978年同博士課程単位取得退学。1984年ハーバード大学ビジネス・スクール博士課程修了、同大学より経営学博士号取得。1978年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助手、1985年助教授、1994年教授。



慶應義塾大学ビジネス・スクール 公開講座のご案内

第4回 *終了*

日程: 10月16日(水)

19:00~20:40 (開場 18:30)

会場: 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館2階 藤原洋記念ホール

マーケティングの新課題 ~ビッグデータ時代のマーケティング戦略~

講義の前半では、ビッグデータ時代におけるマーケターの役割について説明。彼らが理解すべき事柄は データ解析手法 マーケティング戦略 メディアやデバイスへの知識の3点であると論じました。続いてデジタル・データの課題やリスクについて述べ、最後に「警鐘」として、データのredundancy やfusion の重要性、クラウドがもつ大きなインパクトの可能性、消費者意思決定プロセスの重要性等について指摘しました。



担当: **井上 哲浩** (慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

1987年関西学院大学商学部卒業、1989年同大学大学院商学研究科博士課程前期課程修了、1992年同後期課程単位取得退学、1996年Ph.D.(経営学)(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)、関西学院大学商学部専任講師、助教授、教授を経て、2006年慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。

第5回 *終了*

日程: 11月22日(金)

19:00~21:00 (開場 18:30)

会場: 東京21cクラブ(新丸の内ビルディング10F)

定員: 60名 [先着順]

「インド・マドゥライのアラヴィンド眼科病院」のケース・ディスカッション

教室レイアウトや机上の名札など、KBSのケース授業を模したセッティングで行った公開講座初のケースメソッドによる授業形式。「ケース授業では、どんどん発言すること。病院経営に詳しくなることが目的ではなく、分析と議論を通じて経営に関わる一般化可能な考え方を導き出すことを目指す」というコメントでスタートし、アラヴィンド眼科病院のユニークな活動について種々の角度から議論を展開しました。ケースの内容やその他の事例を通じて、様々なマネジメントに関わる理論やコンセプトが紹介され、最後まで活発な議論が繰り広げられました。



担当: **小林 喜一郎** (慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

1980年慶應義塾大学経済学部卒業。1989年慶應義塾大学経営学修士(MBA)。1989年より1993年迄、㈱三菱総合研究所・経営コンサルティング部主任研究員。1996年博士(経営学)(慶應義塾大学)取得。1997年4月より、ハーバード大学ビジネススクールへ留学。2000年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、2006年教授。2001年~2006年フランス Reims Management School 客員教授。

第6回 *終了*

日程: 12月18日(水)

19:00~21:00 (開場 18:30)

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

定員: 200名 [先着順]

制度設計の醍醐味 - 2025年に備えて

田中教授は、日本の介護制度検討が開始された1989年当時から、制度設計の中核で活躍してきました。企業の新製品ローンチのフレームワーク(使命、価値、買い手、中核概念・技術、理念)を使って、2000年から始まった日本の介護保険制度の説明がなされました。従来全く存在しなかった介護保険制度が円滑に運用されてきた理由として、田中教授は制度設計上のサブシステム、サブ・サブシステムが周到かつ精緻に設計されたことを指摘しました。



担当: **田中 滋** (慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

1971年慶應義塾大学商学部卒業、1975年同大学大学院商学研究科修士課程修了、1980年同博士課程単位取得退学。この間、1975~1977年ノースウエスタン大学経営大学院修士課程修了。1977年大学ビジネス・スクール助手、1981年大学院経営管理研究科助教授、1993年教授となる。日本ヘルスサポート学会理事長、日本介護経営学会会長、医療経済学会理事、日本ケアマネジメント学会理事、ピープルズHOPEジャパン副理事長、日本慢性疾患セルフマネジメント協会副理事長。

お問い合わせ

慶應義塾大学ビジネス・スクール セミナー担当 窓口取扱時間 平日 8:45~16:45

〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学協生館 2階事務室

Tel: 045-564-2440 Fax: 045-562-3502 E-mail: seminar@kbs.keio.ac.jp

www.kbs.keio.ac.jp